



# Evolution Wireless Digital EW-DP



# Contents

1. 取扱説明書 .....	4
EW-DP EK ポータブルレシーバー .....	5
製品概要 .....	6
電源 .....	8
オーディオ信号を出力する .....	10
レシーバーの取り付け/取り付けのオプション .....	11
レシーバーのオン/オフを切り替える .....	20
LED表示の意味 .....	21
レシーバーのディスプレイパネルの表示 .....	23
操作メニューのナビゲーションボタン .....	25
操作メニューを開いてメニューアイテムを選択実行する .....	26
EW-DSKM-S ハンドヘルドトランスミッター .....	36
製品概要 .....	36
電池/充電池の取り付けと取り外し .....	38
マイクロホンモジュールの交換 .....	40
ハンドヘルドトランスミッターのオン/オフを切り替える .....	42
トランスミッターのバッテリーステータスをチェックする (チェック機能) .....	43
ペアリングしたトランスミッターを識別する (識別機能) .....	44
LED表示の意味 .....	45
レシーバーと接続する .....	48
ハンドヘルドトランスミッターをミュートする .....	49
EW-DSK ボディパケットランスミッター .....	50
製品概要 .....	50
電池/充電池の取り付けと取り外し .....	52
ボディパケットランスミッターにマイクを接続する .....	54
ボディパケットランスミッターに楽器やラインソースを接続する .....	56
ベルトクリップの交換 .....	57
ボディパケットランスミッターのオン/オフを切り替える .....	58
トランスミッターのバッテリーステータスをチェックする (チェック機能) .....	59
ペアリングしたトランスミッターを識別する (識別機能) .....	60



LED表示の意味.....	61
レシーバーと接続する.....	64
ボディパケットランスミッターをミュートする.....	65
EW-DP SKP プラグオントランスミッター.....	66
製品概要.....	66
電源.....	69
microSD カードを使う.....	71
XLR マイクロホンに接続する.....	73
ラベリアマイクロホンに接続する.....	74
プラグオントランスミッターのオン/オフを切り替える.....	75
レコーディングの開始/停止.....	76
MUTE モード.....	77
LED表示の意味.....	78
無線リンクの設定   レシーバーとトランスミッターの同期.....	82
EW-DP EK レシーバーとの接続/ EW-DP EK の同期.....	82
チャンネルプラン表.....	84
お手入れとメンテナンス.....	86
2. 仕様.....	88
システム.....	88
EW-DP EK ポータブルレシーバー.....	89
EW-D SKM-S ハンドヘルドトランスミッター.....	90
EW-D SK ボディパケットランスミッター.....	91
EW-DP SKP プラグオントランスミッター.....	92
3. よくある質問.....	93
4. お問い合わせ.....	94



# 1. 取扱説明書

Evolution Wireless Digital シリーズの起動と操作方法

## EW-DP シリーズの製品

- [EW-DP EK ポータブルレシーバー](#)
- [EW-D SKM-S ハンドヘルドトランスミッター](#)
- [EW-D SK ボディパケットランスミッター](#)
- [EW-DP SKP プラグオントランスミッター](#)

## 無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期

- [EW-DP EK レシーバーとの接続 / EW-DP EKの同期](#)

## チャンネルプラン表

- [チャンネルプラン表](#)

## お手入れとメンテナンス

- [お手入れとメンテナンス](#)



## EW-DP EK ポータブルレシーバー

製品概要

電源

オーディオ信号を出力する

レシーバーの取り付け／取り付けのオプション

レシーバーのオン／オフを切り替える

LED表示の意味

レシーバーのディスプレイパネルの表示

操作メニューのナビゲーションボタン

操作メニューを開いてメニューアイテムを選択実行する

GAIN メニューアイテム

OUTPUT LEVEL メニューアイテム

HEADPHONE メニューアイテム

MUTE SWITCH メニューアイテム

AUTO SCAN メニューアイテム

CHANNEL メニューアイテム

FREQUENCY メニューアイテム

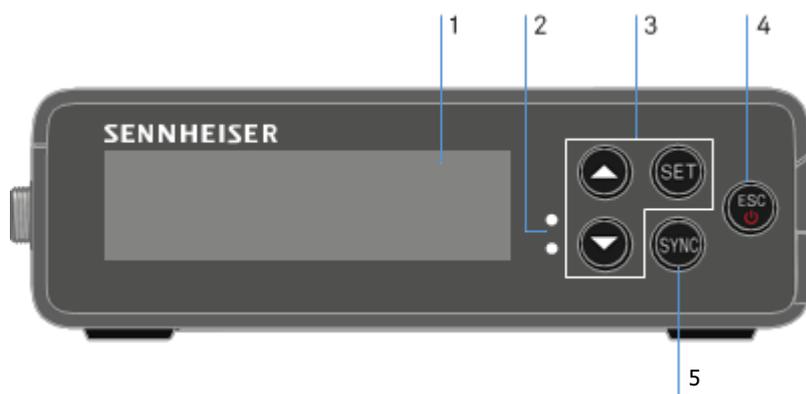
BRIGHTNESS メニューアイテム

RESET メニューアイテム



## 製品概要

### 正面



- 1 ディスプレイ：ステータス情報と操作メニューを提供
  - 参照：[LED表示の意味](#)
- 2 **LINK LED**と**DATA LED**：接続ステータスとBluetooth ステータスを表示
  - 参照：[LED表示の意味](#)
- 3 **UP/DOWN/SET** メニューボタン：操作メニューを移動
  - 参照：[操作メニューのナビゲーションボタン](#)
- 4 **ESC/ON/OFF** ボタン：メニューのアクションをキャンセル、デバイスのオン／オフを切り替え
  - 参照：[操作メニューのナビゲーションボタン](#)
  - 参照：[操作メニューのナビゲーションボタン](#)
- 5 **SYNC** ボタン：トランスミッターとレシーバーを同期
  - 参照：[無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期](#)



側面



- 6 3.5 mm ジャックソケット：ヘッドホン用
  - 参照：[オーディオ信号を出力する](#)
- 7 USB-C 接続ソケット：電源用
  - 参照：[電源](#)
- 8 3.5 mm ジャックソケット：接続ケーブル用
  - 参照：[オーディオ信号を出力する](#)



## 電源

EW-DP EKの電源供給方法は2つあります：

### カメラまたはパワーバンクからUSB-Cを用いて電源供給

- ▷ USB-C ケーブルを用いてカメラまたは他の電源にレシーバーを接続します

USB-C Power

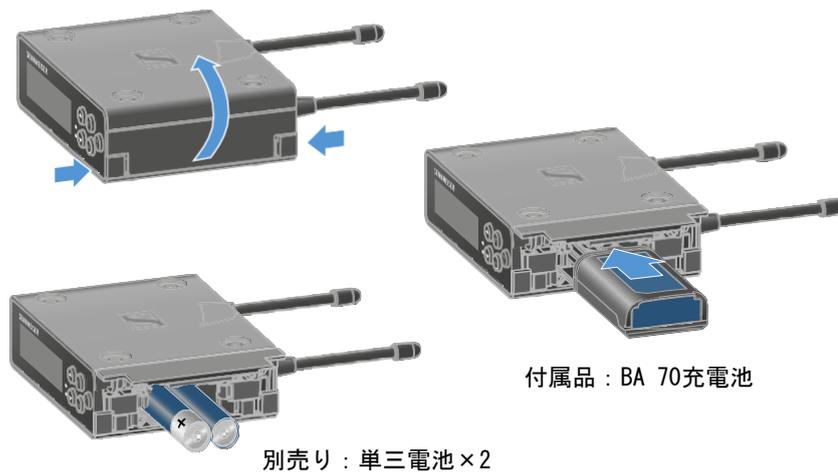


**i** USB-C ケーブルを用いた電源供給：5 V/min. 1 A（BA 70を最速で充電）



### 電池または充電電池で電源供給

- ▷ EW-DP EKの電池ボックスを開きます（側面にある2つのリリースボタンを押してください）。



- ▷ BA 70 充電電池または単三電池×2を電池ボックスに入れます。
- ▷ 電池ボックスを閉じます。

**i** 電池をメイン電源として、USBを併用することもできます（電源供給方法はEKユニットが制御します）。

**i** EW-DP EKは、USB Power Delivery Protocolに準拠しており、スマートUSB-C 電源ユニット（USB-C PD）に対応します。



## オーディオ信号を出力する

EW-DP EKは、3.5 mm オーディオ出力（アンバランス）と3.5 mm ヘッドホン出力（アンバランス）が備わっています。

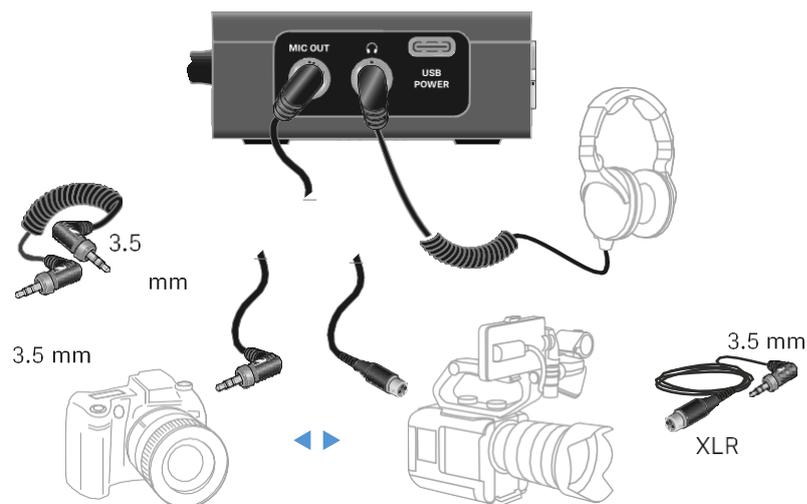
### ⚠ 注意



音量レベルの上げ過ぎによる聴覚への悪影響

本製品は高い音圧レベルを発生させることができます。音量レベルの上げ過ぎや、長時間の使用は聴覚に悪影響を及ぼす恐れがあります。

- ▷ 音量は中くらいに設定してください。
- ▷ トランスミッターを交換する前や周波数を変更する前に、音量を下げてください。



3.5 mm ジャックケーブルを接続するには：

- ▷ ジャックケーブルを、EW-DP EKのMIC OUT ソケットに挿します。



## レシーバーの取り付け／取り付けのオプション

### EW-DP EK 取り付け用アクセサリ



マウンティングプレート



ホットシューアダプター



クリップ



六角レンチ



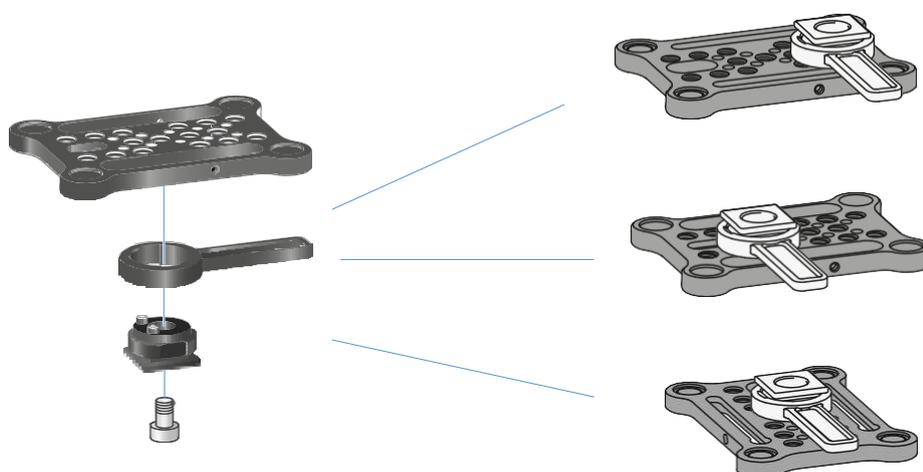
ねじ

#### 関連情報

- [マウンティングプレートとホットシューアダプターを組み合わせる](#)
- [マウンティングプレートとクリップ](#)
- [レシーバーをマウンティングプレートに取り付ける／重ね付けする](#)
- [アングルをつけて、マウンティングプレートあり／無しで取り付ける](#)
- [DSLRやビデオカメラへの取り付け例](#)
- [カメラケースへの取り付け例](#)
- [ポケットやベルトへの取り付け例](#)
- [三脚への取り付け例](#)



## マウンティングプレートとホットシューアダプターを組み合わせる



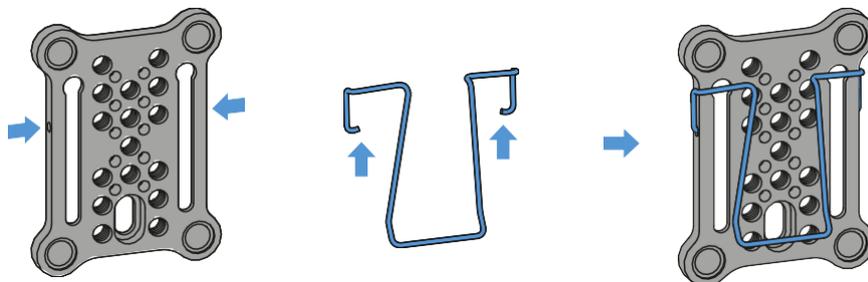
取り付けるシチュエーションに応じて、ホットシューアダプターは様々なポジションでマウンティングプレートに取り付けることができます。

**ホットシューアダプターをマウンティングプレートに取り付けるには：**

- ▷ 付属のねじを用いて、アダプターとレバーを組み合わせます。
- ▷ ホットシューアダプターを、マウンティングプレートの適切な位置に取り付けます。



## マウンティングプレートとクリップ



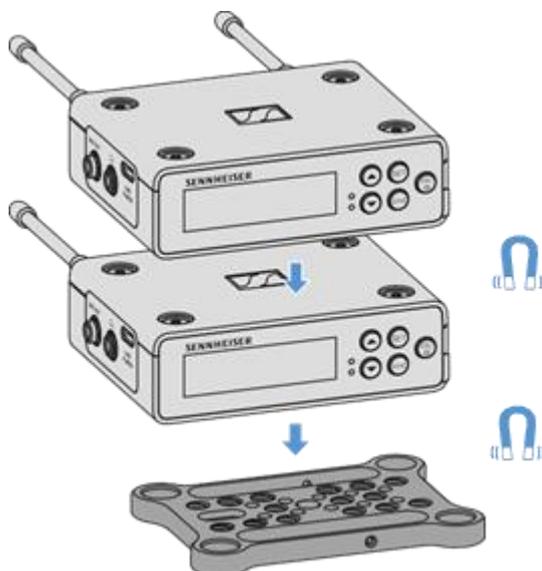
ホットシューアダプターの代わりに、メタルクリップをマウンティングプレートの脇に取り付けることもできます。

### クリップをマウンティングプレートに取り付けるには：

- ▷ 上図のように、マウンティングプレートの脇にクリップを挿し込みます。
- ➡ レシーバーをベルトやポケットに取り付けることができます。



## レシーバーをマウンティングプレートに取り付ける／重ね付けする



レシーバーは底部に磁石が付いているので、ねじなどを使用せずにマウンティングプレートに簡単に取り付けることができます。2台のレシーバーを重ね付けすることも可能です。

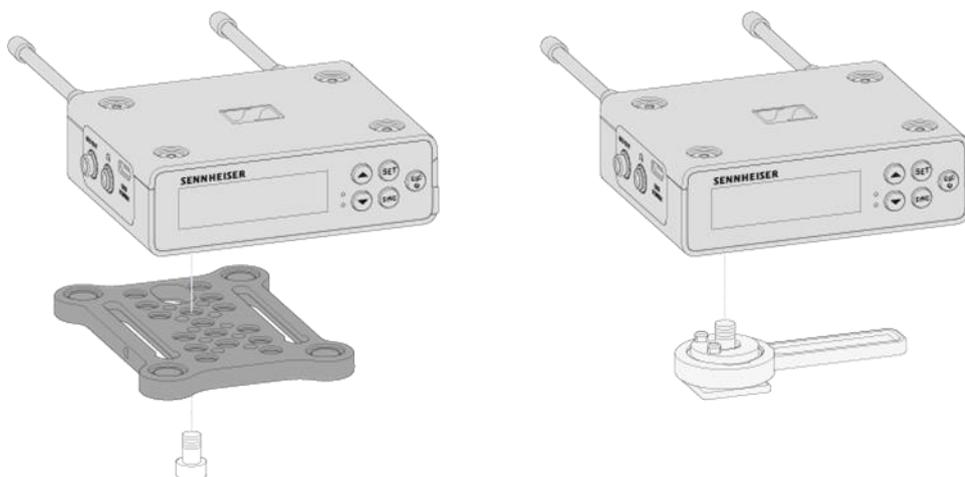
レシーバーをマウンティングプレートに取り付けるには：

- ▷ レシーバー底部の4つの磁石を、マウンティングプレートの凹部に挿し込みます。

**i** 重ね付けした2台のレシーバーは、オプションのY-ケーブルを用いて接続できます。



## マウンティングプレートあり／無しで取り付ける



### マウンティングプレートを90度回転させて、レシーバーを取り付けるには：

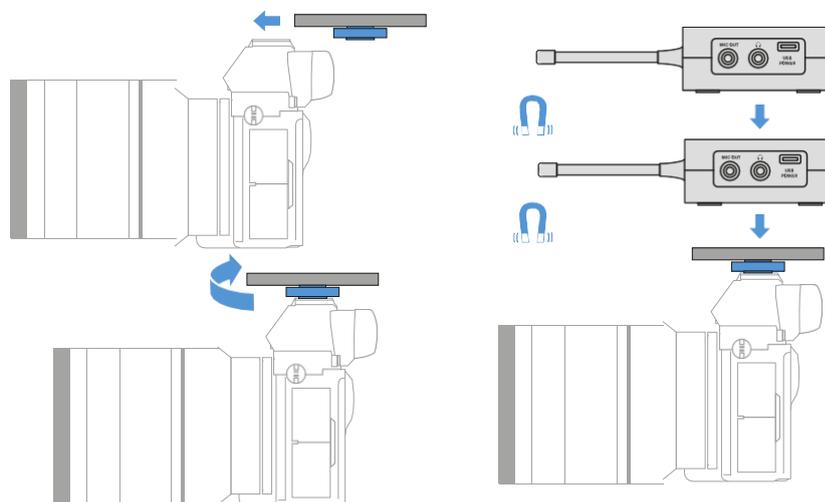
- ▷ マウンティングプレートを90度回転させ、レシーバーの底部の適切なポジションに挿し込みます。
  - ➡ クリップで取り付ける場合に適した方法です。

### マウンティングプレート無しでレシーバーを取り付けるには：

- ▷ ホットシューアダプターをレシーバーの底部に直接ねじ留めします。
  - ➡ カメラのホットシューへの取り付けが可能になります。



## DSLRやビデオカメラへの取り付け例

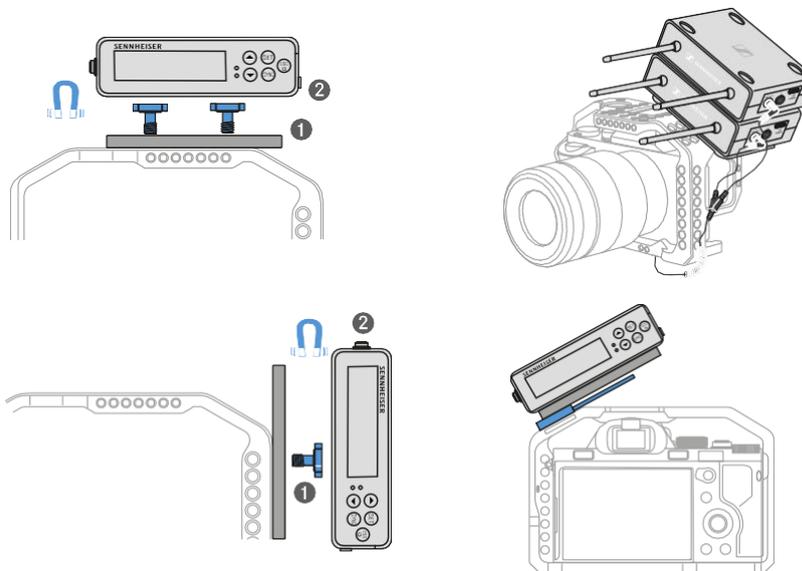


ホットシューアダプターを付けたマウンティングプレートをDSLRやビデオカメラに取り付けるには：

- ▷ アダプターをカメラのホットシューに挿し込みます。
- ▷ ホットシューアダプターのレバーを回転させ、アダプターをしっかりと固定します。
  - ➡ これで、マウンティングプレートへの1台または2台のレーザー取り付けが可能になりました。



## カメラケースへの取り付け例

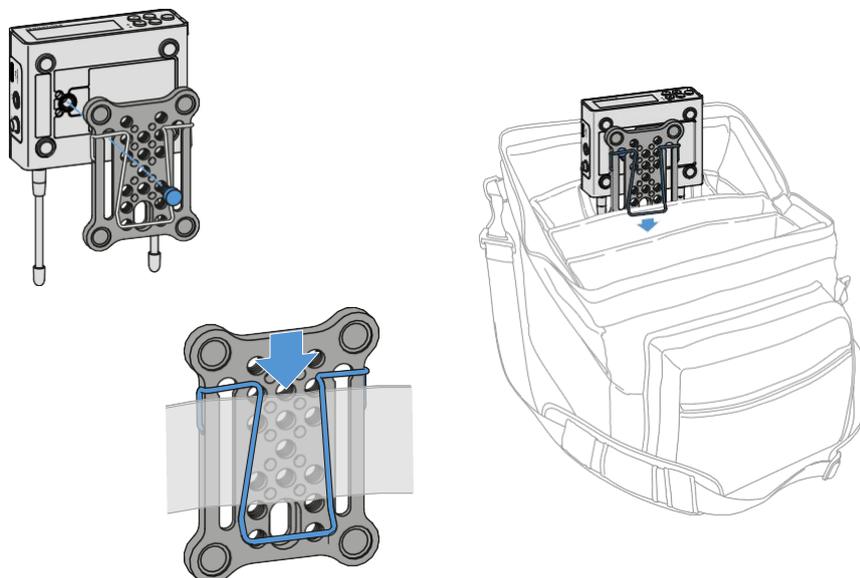


マウンティングプレートをカメラケースに取り付けるには：

- ▷ 取り付けるシチュエーションやポジションに応じて、ねじを1～2本使い、マウンティングプレートをカメラケースにねじ留めします。
- ▷ マウンティングプレートにレシーバーを取り付けます。



## ポケットやベルトへの取り付け例

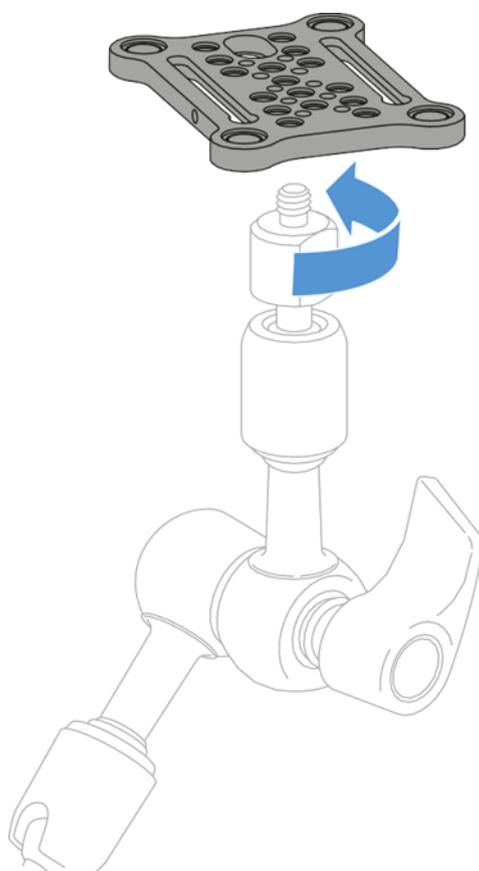


マウンティングプレートを用いてレシーバーをポケットやベルトに取り付けるには：

- ▷ マウンティングプレートにクリップを取り付けます。
- ▷ ねじをスロットに挿し込んで、マウンティングプレートをレシーバーに取り付けます。
  - ➡ これで、ポケットやベルトへのレシーバーの取り付けが可能になりました。



### 三脚への取り付け例



マウンティングプレートを三脚に固定するには：

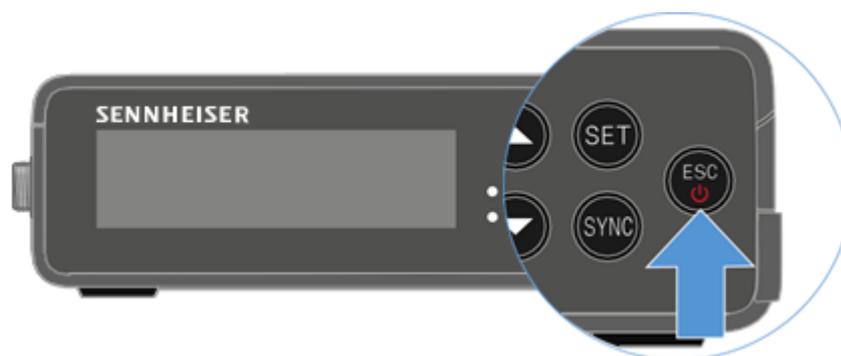
- ▷ マウンティングプレートを、三脚のねじに適切なポジションで固定します。
  - ➡ これで、マウンティングプレートへの1~2台のレーザーの取り付けが可能になりました。



## レシーバーのオン／オフを切り替える

レシーバーをオンにするには：

- ▷ **ON/OFF** ボタンを短押しします。
  - ➡ レシーバーがオンになります

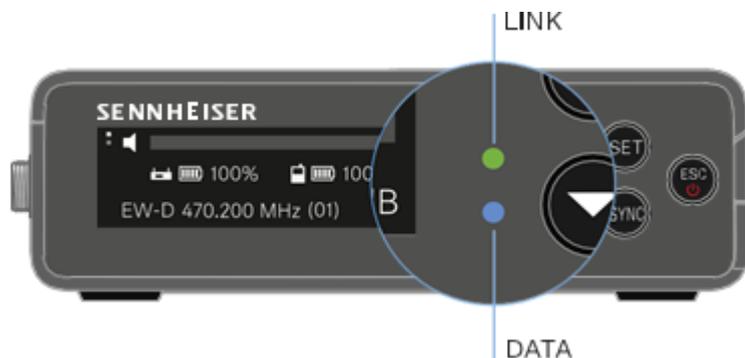


レシーバーをオフにするには：

- ▷ **ON/OFF** ボタンを押します。
  - ➡ レシーバーがオフになります。



## LED表示の意味



レシーバー正面の**LINK** LEDと**DATA** LEDは、次の情報を提供します。

### LINK LED

**LINK** LEDは、トランスミッターとレシーバーの無線リンクのステータス情報、およびペアリングしたトランスミッターのステータス情報を提供します。

---

LEDが緑色で点灯：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号がアクティブです。

---

LEDが黄色で点灯：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号がミュートです。



または

- マイクロホンモジュールがSKM-S ハンドヘルドトランスミッターに取り付けられていません。

---

LEDが黄色で点滅：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号がオーバーロード（クリッピング）状態です。

---

LEDが赤色で点灯：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされていません。

---

LEDが赤色で点滅：



- ペアリングしたトランスミッターの電池／充電池が切れかかっています。

---

## DATA LED

DATA LEDは、レシーバーのBluetooth Low EnergyとSmart Assistアプリのリンクのステータス情報、およびトランスミッターとレシーバーの同期のステータス情報を提供します。

---

LEDが青色で点滅：



- レシーバーとスマートフォン／タブレットの、Bluetooth Low EnergyとSmart Assistアプリがリンクされています。

または

- レシーバーがトランスミッターと同期されています。

---

LEDが青色で点灯：



- ファームウェアの更新中です。

---

LEDがオフ：



- 稼働中です。
- アクティブなデータリンクはありません。



## レシーバーのディスプレイパネルの表示

ディスプレイには周波数、受信品質、バッテリーステータス、オーディオレベルといったステータス情報が表示されます。

また、すべての設定の構成を行う操作メニューも表示されます（参照：[操作メニューのナビゲーションボタン](#)）。



### 説明

ディスプレイページ：

- 参照：[メインビューとアドバンスドビュー](#)

ミュート／ミュートスイッチ：

- 参照：[MUTE SWITCH](#) メニューアイテム | [ハンドヘルドトランスミッターをミュートする](#) | [ポディパケットランスミッターをミュートする](#)

リンクネーム：

- Smart Assist アプリで変更可能
- アプリとの接続：

レシーバーバッテリー：

- 参照：[電源](#)



トランスミッターバッテリー：

- SKM-S：電池／充電電池の取り付けと取り外し | SK：電池／充電電池の取り付けと取り外し

周波数／チャンネル：

- 参照：CHANNEL メニューアイテム

ゲイン／トランスミッターオーディオレベル／PEAKインジケータ

- 参照：GAIN メニューアイテム

信号レベル：

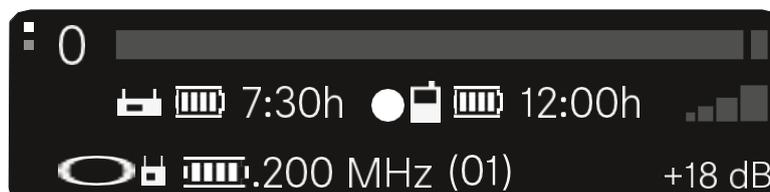
- 参照：OUTPUT LEVEL メニューアイテム

メインビューとアドバンスドビュー

**i** デバイスをオンにすると、メインビューが表示されます。



▷ UP ボタンを押すと、アドバンスドビューに変わります。





## 操作メニューのナビゲーションボタン

以下のボタンで、レシーバーの操作メニューを使用します。



### SET ボタンを押す

- メニューを開きます
- メニューアイテムの設定を保存します

### UP/DOWNボタンを押す

- 前または次のメニューアイテムに移動します
- メニューアイテムの設定を変更します

### ESC ボタンを押す

- 入力をキャンセルします

**i** 操作メニューを開いてメニューアイテムを選択実行する



## 操作メニューを開いてメニューアイテムを選択実行する

メニューを開くには：

- ▷ SET ボタンを押します。
  - ➡ 最初のメニューアイテムであるGAINが点滅します。



メニューアイテムを移動するには：

- ▷ UP/DOWN ボタンを押します。
  - ➡ 現在アクティブなメニューアイテムが表示されます。

メニューアイテムを開くには：

- ▷ 選択したいメニューアイテムが点滅するまで移動します。
- ▷ SET ボタンを押して、選択したメニューアイテムを開きます。

### 関連情報

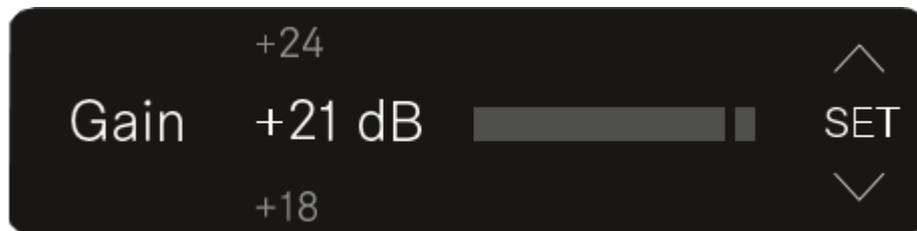
- [GAIN メニューアイテム](#)
- [OUTPUT LEVEL メニューアイテム](#)
- [HEADPHONE メニューアイテム](#)
- [MUTE SWITCH メニューアイテム](#)
- [AUTO SCAN メニューアイテム](#)
- [CHANNEL メニューアイテム](#)
- [FREQUENCY メニューアイテム](#)
- [BRIGHTNESS メニューアイテム](#)
- [RESET メニューアイテム](#)

## GAIN メニューアイテム

GAIN メニューアイテムで、ペアリングしたトランスミッターのオーディオ信号のレベルを設定できます。



- ▷ **GAIN** メニューアイテムを開きます。
  - ➡ 下図のように表示されます。



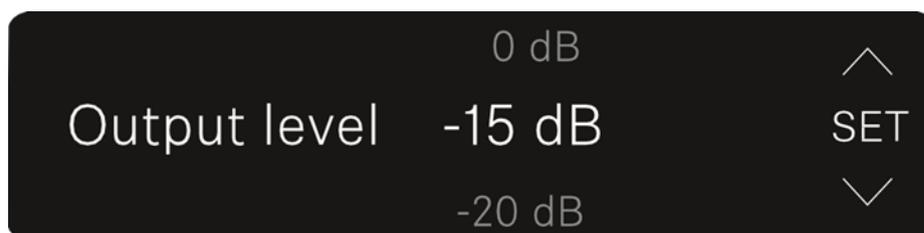
- ▷ **UP/DOWN** ボタンを押して値を調整します。
- ▷ **SET** ボタンを押して設定値を保存します。
  - ➡ メインビューまたはアドバンスドビューに戻ります。



## OUTPUT LEVEL メニューアイテム

**OUTPUT LEVEL** メニューアイテムで、レシーバーのオーディオ出力からのオーディオ信号のレベルを設定できます。このオーディオ信号を、カメラ入力やミキシングコンソールなどに出力することができます。

- ▷ **OUTPUT LEVEL** メニューアイテムを開きます。  
➡ 下図のように表示されます。



- ▷ **UP/DOWN** ボタンを押して値を調整します。
- ▷ **SET** ボタンを押して設定値を保存します。  
➡ メインビューまたはアドバンスドビューに戻ります。



## HEADPHONE メニューアイテム

HEADPHONE メニューアイテムで、レシーバーのヘッドホン出力からのオーディオ信号のボリュームを設定できます。

### 注意

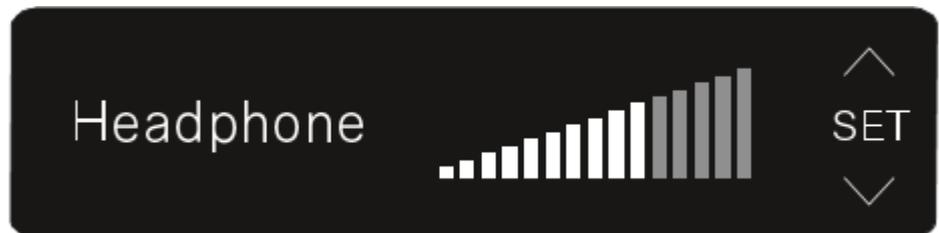


#### 音量レベルの上げ過ぎによる聴覚への悪影響

本製品は高い音圧レベルを発生させることができます。音量レベルの上げ過ぎや、長時間の使用は聴覚に悪影響を及ぼす恐れがあります。

- ▷ 音量は中くらいに設定してください。
- ▷ トランスミッターを交換する前や周波数を変更する前に、音量を下げてください。

- ▷ HEADPHONE メニューアイテムを開きます。  
➡ 下図のように表示されます。



- ▷ UP/DOWN ボタンを押して値を調整します。
- ▷ SET ボタンを押して設定値を保存します。  
➡ メインビューまたはアドバンスドビューに戻ります。



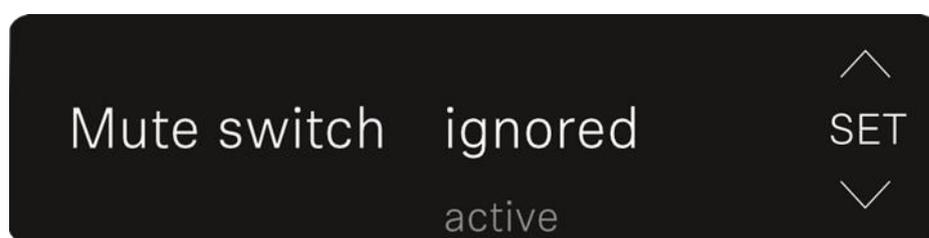
## MUTE SWITCH メニューアイテム

**MUTE SWITCH** メニューアイテムで、ペアリングしたトランスミッターのミュートスイッチを無効化できます。

無効化すると、トランスミッターはミュートできなくなります。

▷ **MUTE SWITCH** メニューアイテムを開きます。

➡ 下図のように表示されます。

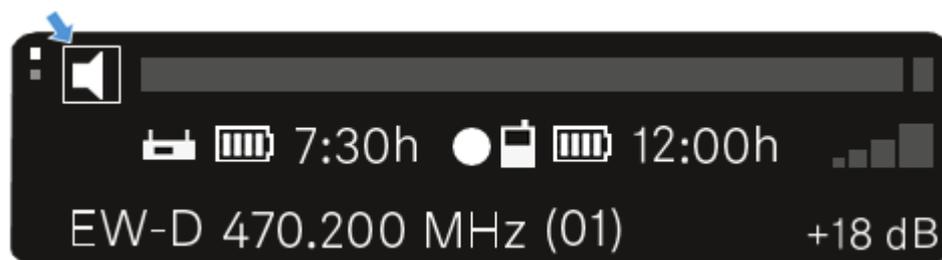


▷ **UP/DOWN** ボタンを押して、ミュート機能を有効化 (active) または無効化 (ignored) します。

▷ **SET** ボタンを押して設定値を保存します。

➡ メインビューまたはアドバンスドビューに戻ります。

ディスプレイの左上にスピーカーアイコンが表示されれば、トランスミッターのミュートスイッチは有効化されています。



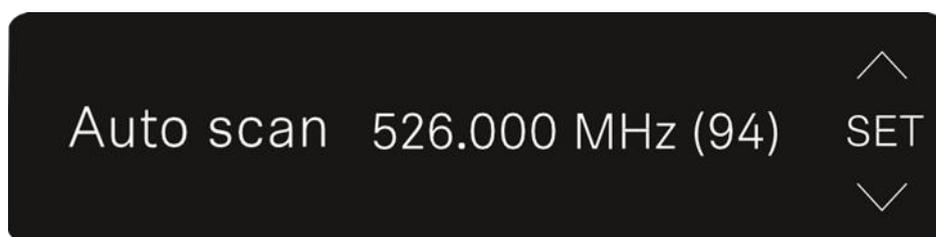


## AUTO SCAN メニューアイテム

**AUTO SCAN** メニューアイテムで、エリア内の自動周波数スキャンを行えます。空いている無線周波数を容易に探して、割り当てることができます。

スキャンはデバイスの周波数レンジの最低周波数から始まります。

- ▷ **AUTO SCAN** メニューアイテムを開きます。
  - ➡ スキャンが自動的に始まり、次の空き周波数がディスプレイに表示されます。



- ▷ **SET** ボタンを押して、表示された周波数を選択します。  
または
- ▷ **UP/DOWN** ボタンを押して、次の空き周波数を表示します。  
または
- ▷ **ESC** ボタンを押して、スキャンをキャンセルします。周波数は変更されません。

**i** 周波数を変更したら、トランスミッターとレシーバーを同期させて無線リンクを設定する必要があります（参照：[無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期](#)）。



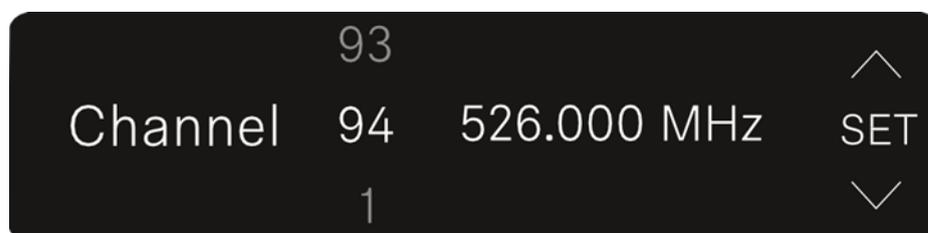
## CHANNEL メニューアイテム

CHANNEL メニューアイテムで、プリセットチャンネルを選択して無線周波数を設定できます。

- i** 選択した周波数が空いているかどうか定かでない場合は、スキャンを実行してすべての空き周波数を確認することをお勧めします：[AUTO SCAN メニューアイテム](#)

▷ CHANNEL メニューアイテムを開きます。

➡ 下図のように表示されます。



▷ UP/DOWN ボタンを押してプリセットチャンネルを選択します。

▷ SET ボタンを押して表示された周波数を選択します。

または

▷ ESC ボタンを押してスキャンをキャンセルします。周波数は変更されません。

- i** 周波数を変更したら、トランスミッターとレシーバーを同期させて無線リンクを設定する必要があります（参照：[無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期](#)）。



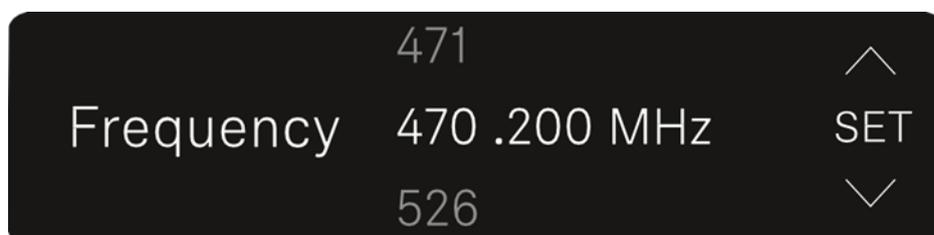
## FREQUENCY メニューアイテム

**FREQUENCY** メニューアイテムで、プリセットチャンネルを使わずに無線周波数を手動で設定できます。

- i** 選択した周波数が空いているかどうか定かでない場合は、スキャンを実行してすべての空き周波数を確認することをお勧めします：[AUTO SCAN](#) × [メニューアイテム](#)

▷ **FREQUENCY** メニューアイテムを開きます。

➡ 下図のように表示されます。



- ▷ **UP/DOWN** ボタンを押して、周波数 (MHz) を設定します。
- ▷ **SET** ボタンを押して値を選択し、周波数 (KHz) の微調整を実行します。
- ▷ **UP/DOWN** ボタンを押して、周波数 (KHz) を微調整します。
- ▷ **SET** ボタンを押して表示された周波数を承認します。メインビューまたはアドバンスドビューに戻ります。  
または
- ▷ **ESC** ボタンを押して入力をキャンセルします。周波数は変更されません。

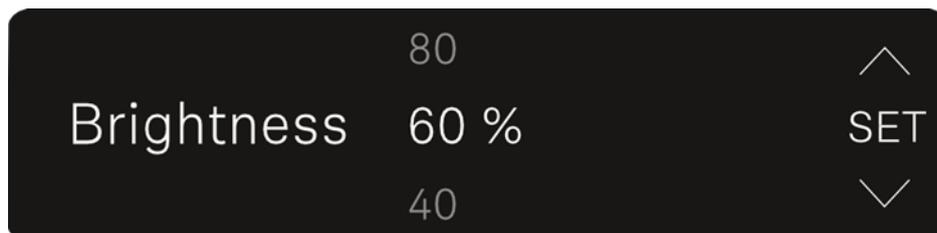
- i** 周波数を変更したら、トランスミッターとレシーバーを同期させて無線リンクを設定する必要があります (参照：[無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期](#))。



## BRIGHTNESS メニューアイテム

BRIGHTNESS メニューアイテムで、ディスプレイの輝度を設定できます。

- ▷ **BRIGHTNESS** メニューアイテムを開きます。  
➡ 下図のように表示されます。



- ▷ **UP/DOWN** ボタンを押して、輝度を設定します。
- ▷ **SET** ボタンを押して設定値を保存します。  
➡ メインビューまたはアドバンスドビューに戻ります。

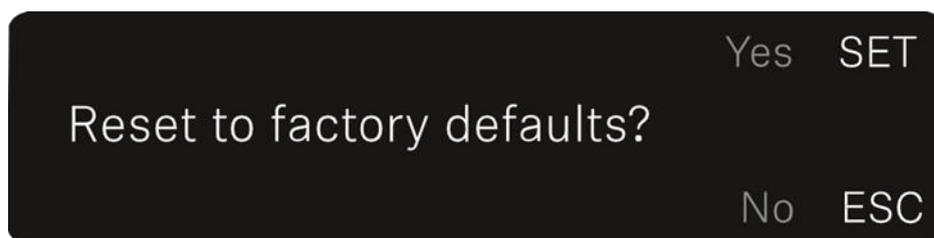


## RESET メニューアイテム

RESET メニューアイテムで、レシーバーを工場出荷時の状態にリセットできます。

▷ **RESET** メニューアイテムを開きます。

➡ 下図のように表示されます。



▷ **SET/ESC** ボタンを押して、YESまたはNOを選択します。

◦ **YES** : レシーバーを工場出荷時の状態にリセットします。

◦ **NO** : リセットを行いません。

➡ メインビューまたはアドバンスドビューに戻ります。



## EW-D SKM-S ハンドヘルドトランスミッター

### 製品概要

- 電池／充電電池の取り付けと取り外し
- マイクロホンモジュールの交換
- ハンドヘルドトランスミッターのオン／オフを切り替える
- トランスミッターのバッテリーステータスをチェックする（チェック機能）
- ペアリングしたトランスミッターを識別する（識別機能）
- LED表示の意味
- レシーバーと接続する
- ハンドヘルドトランスミッターをミュートする

### 製品概要



1 **ON/OFF**ボタン

- 参照：[ハンドヘルドトランスミッターのオン／オフを切り替える](#)

2 **DATA** LED

- 参照：[LED表示の意味](#)

3 **SYNC**ボタン

- 参照：[無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期](#)



4 **LINK LED**

- 参照：[LED表示の意味](#)

5 **ミュートスイッチ**

- 参照：[ハンドヘルドトランスミッターをミュートする](#)

6 **マイクロホンモジュール**

- 参照：[マイクロホンモジュールの交換](#)



## 電池／充電電池の取り付けと取り外し

ハンドヘルドトランスミッターには、電池（単3、1.5 V）または充電電池（Sennheiser BA 70）を使用してください。

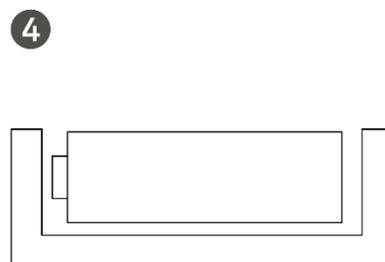
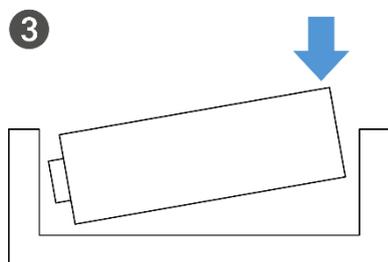
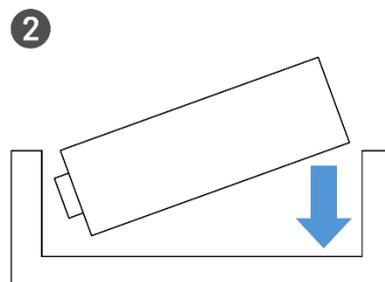
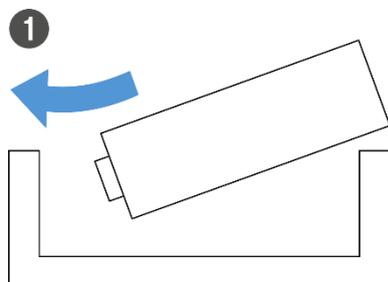


- ▷ 図のようにマイクハウジングのねじを緩めて完全に引き出します。
- ▷ 図のように電池またはBA 70充電電池を電池ボックスに取り付けます。極性を確認してください。
- ▷ マイクハウジングを締め戻します。



注：BA 70充電電池について

• BA 70充電電池は下図のように取り付けてください：





## マイクロホンモジュールの交換

マイクロホンモジュールを交換するには：

- ▷ マイクモジュールのねじを緩めて外します。
- ▷ 交換するマイクモジュールを取り付けます。
- ▷ ワイヤレスマイクやマイクモジュールのコンタクトに触れないでください。  
コンタクトに触れると、汚れたり曲がったりする恐れがあります。



互換性のあるマイクロホンモジュール



以下のマイクモジュールは、ハンドヘルドトランスミッターと互換性があります：

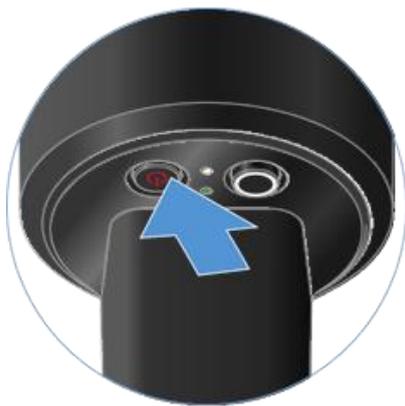
- **MMD 835-1** | ダイナミックマイクモジュール (カーディオイド)
- **MMD 845-1** | ダイナミックマイクモジュール (スーパーカーディオイド)
- **MME 865-1** | コンデンサーマイクモジュール (スーパーカーディオイド)
- **MMD 935-1** | ダイナミックマイクモジュール (カーディオイド)
- **MMD 945-1** | ダイナミックマイクモジュール (スーパーカーディオイド)
- **MMK 965-1** | コンデンサーマイクモジュール (カーディオイド/スーパーカーディオイド切り替え可能)
- **MMD 42-1** | ダイナミックマイクモジュール (無指向性)
- **Neumann KK 204** | コンデンサーマイクモジュール (カーディオイド)
- **Neumann KK 205** | コンデンサーマイクモジュール (スーパーカーディオイド)
- **MM 435** | ダイナミックマイクモジュール (カーディオイド)
- **MM 445** | ダイナミックマイクモジュール (スーパーカーディオイド)
- **ME 9002** | コンデンサーマイクモジュール (無指向性)
- **ME 9004** | コンデンサーマイクモジュール (カーディオイド)
- **ME 9005** | コンデンサーマイクモジュール (スーパーカーディオイド)



## ハンドヘルドトランスミッターのオン/オフを切り替える

ハンドヘルドトランスミッターをオンに切り替えるには：

- ▷ **ON/OFF** ボタンを短押しします。
  - ➡ **LINK LED**が点灯し、トランスミッターがオンになります。



ハンドヘルドトランスミッターをオフに切り替えるには：

- ▷ LEDが消えるまで、**ON/OFF** ボタンを長押しします。



## トランスミッターのバッテリーステータスをチェックする（チェック機能）

トランスミッターのバッテリーステータスをチェックするには：

- ▷ トランスミッターのON/OFFボタンを短押しします。



➡ トランスミッターのLINK LEDが点滅して、電池またはBA 70充電電池の現在の残量を表示します。

LINK LED	
	≤ 100 %
	≤ 60 %
	≤ 20 %

- i** トランスミッターのON/OFFボタンを押すと、識別機能もオンになります：  
ペアリングしたトランスミッターを識別する（識別機能）

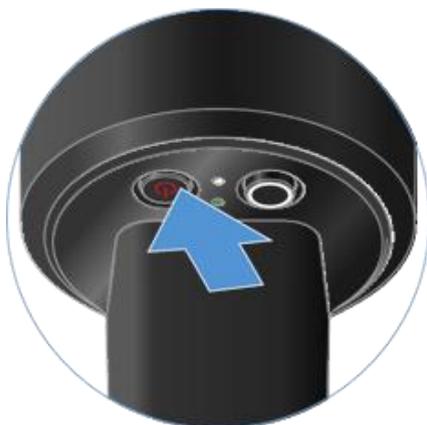


## ペアリングしたトランスミッターを識別する（識別機能）

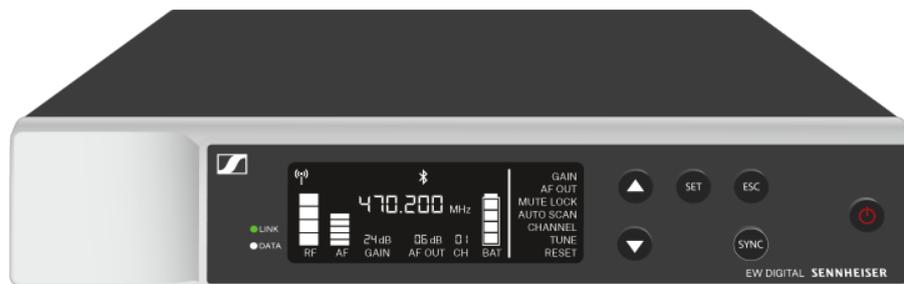
マルチチャンネルシステムでは、**識別機能**を使って、どのレシーバーとトランスミッターがペアリングされているかをすぐにチェックできます。

トランスミッターおよびレシーバーのいずれもオンになっている必要があります。

▷ トランスミッターの**ON/OFF**ボタンを短押しします。



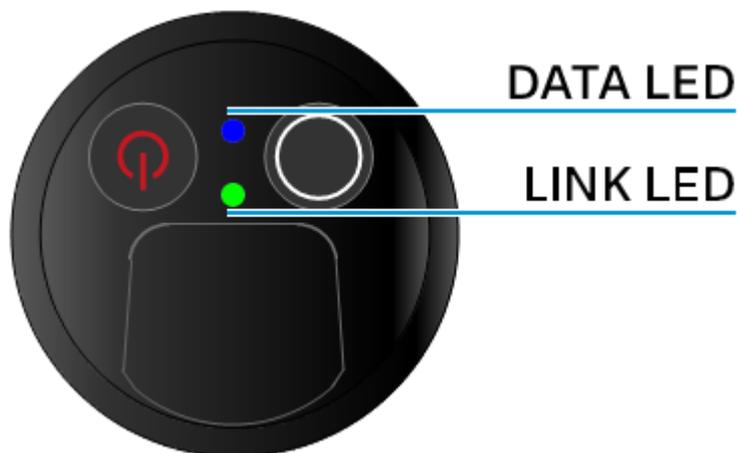
➡ ペアリングされているレシーバーのディスプレイが点滅し始めます。



**i** トランスミッターの**ON/OFF**ボタンを押すと、チェック機能もオンになります：  
トランスミッターのバッテリーステータスをチェックする（**チェック機能**）



## LED表示の意味



トランスミッター底部にある**LINK LED**および**DATA LED**は、以下の情報を提供します。

### **LINK LED**

**LINK LED**は、トランスミッターとレシーバーの無線リンクのステータス情報、およびペアリングしたトランスミッターのステータス情報を提供します。



LEDが緑色で点灯:



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- 送信状態です。

LEDが黄色で点灯:



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号がミュートです。または
- マイクロホンモジュールがSKM-S ハンドヘルドトランスミッターに取り付けられていません。

LEDが黄色で点滅:



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号がオーバーロード（クリッピング）状態です。

LEDが赤色で点灯:



- トランスミッターの電池／充電電池の残量がゼロです。

LEDが赤色で点滅:



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- トランスミッターの電池／充電電池が切れかかっています。

LEDがオフ:



- トランスミッターとレシーバーがリンクされていません。
- トランスミッターがオフです。



## DATA LED

DATA LEDはトランスミッターとレシーバーの同期情報を提供します。

---

LEDが青色で点滅：

- トランスミッターがレシーバーと同期されています。



LEDが青色で点灯：

- ファームウェアの更新中です。



LEDがオフ：

- アクティブなデータリンクがありません





## レシーバーと接続する

トランスミッターとレシーバーの無線リンクを設定するには、デバイス同士が同期されている必要があります。

参照：[無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期](#)

### **i** 周波数使用に際しての条件と制約

周波数の使用に際しては国ごとに特別な条件や制約がある場合があります。

製品を使用する前に、以下のページで国別の情報をご確認ください：

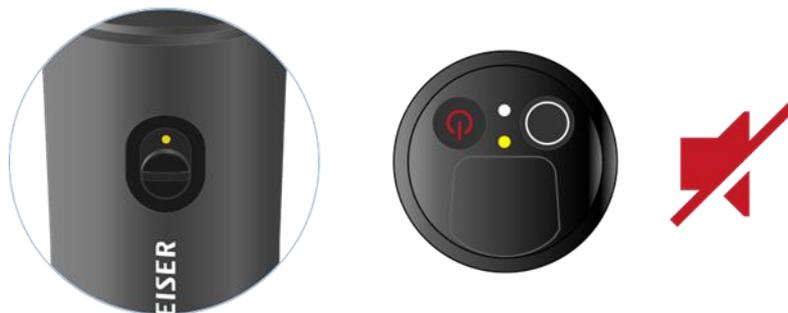
[sennheiser.com/sifa](https://sennheiser.com/sifa)



## ハンドヘルドトランスミッターをミュートする

ミュートスイッチを使ってオーディオ信号をミュートできます。

▷ ミュートスイッチをスライドさせて、オーディオ信号をミュートまたは有効化します。



- i** レシーバーのミュートロックを有効化することで、ミュートスイッチを無効化できます ([MUTE SWITCHメニューアイテム](#)を参照)



## EW-D SK ボディパケットランスミッター

### 製品概要

電池／充電器の取り付けと取り外し

ボディパケットランスミッターにマイクを接続する

ボディパケットランスミッターに楽器やラインソースを接続する

ベルトクリップの交換

ボディパケットランスミッターのオン／オフを切り替える

ランスミッターのバッテリーステータスをチェックする（チェック機能）

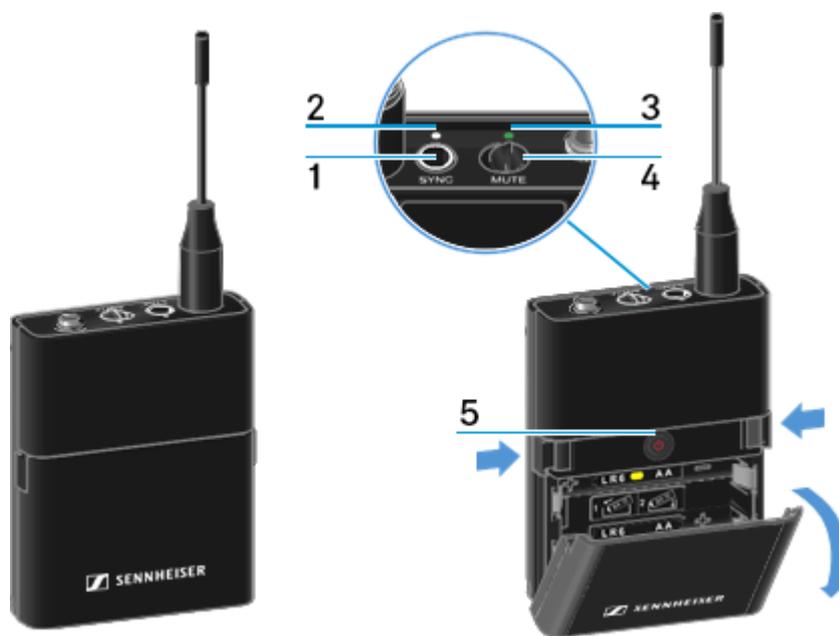
ペアリングしたランスミッターを識別する（識別機能）

LED表示の意味

レシーバーと接続する

ボディパケットランスミッターをミュートする

### 製品概要



1 SYNCボタン

- 参照：[無線リンクの設定 | レシーバーとランスミッターの同期](#)



2 **DATA LED**

- 参照：[LED表示の意味](#)

3 **LINK LED**

- 参照：[LED表示の意味](#)

4 Muteスイッチ

- 参照：[ボディパケットランスマッターをミュートする](#)

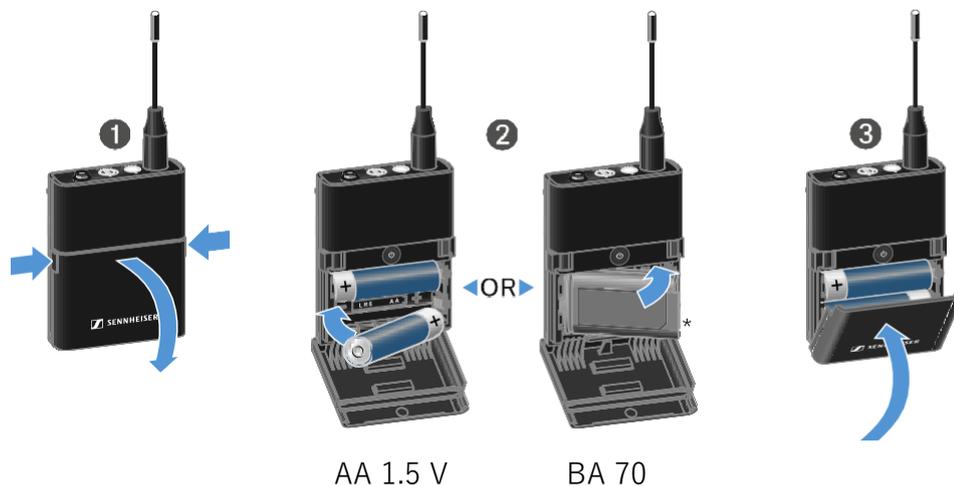
5 **ON/OFF**ボタン

- 参照：[ボディパケットランスマッターのオン／オフを切り替える](#)



## 電池／充電電池の取り付けと取り外し

ハンドヘルドトランスミッターには、電池（単3、1.5 V）または充電電池（Sennheiser BA 70）を使用してください。

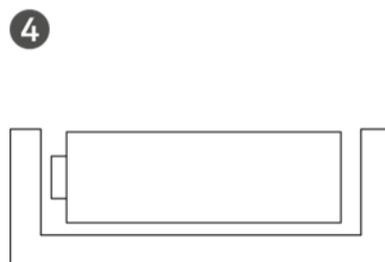
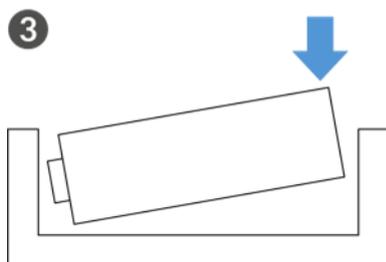
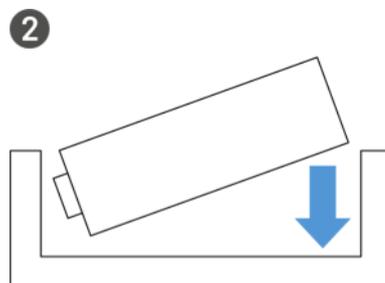
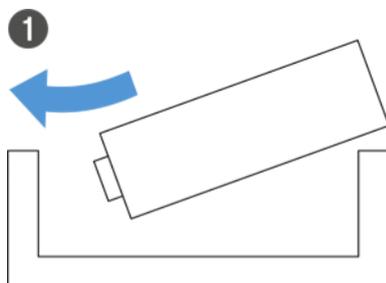


- ▷ 2カ所の留め金を押して電池ボックスカバーを開きます。
- ▷ 図のように電池またはBA 70充電電池を電池ボックスに取り付けます。極性を確認してください。
- ▷ 電池ボックスを閉じます。
  - ➡ カバーはカチッという音が生じてロックがかかります。



注：BA 70充電電池について

・ BA 70充電電池は下図のように取り付けてください：





## ボディパケットランスミッターにマイクを接続する

ボディパケットランスミッターにマイクを接続するには：

- ▷ 下図のように、ケーブルの3.5 mm ジャックプラグをボディパケットランスミッターのソケットに挿します。
- ▷ ボディパケットランスミッターのオーディオソケットのねじにプラグのカップリングリングをねじ込みます。



### 互換性のあるマイクロホン

以下のマイクロホンは、ボディパケットランスミッターと互換性があります：



**ラベリアマイクロホン：**

- **ME 2** | ラベリアマイク（無指向性、2021年以降の金メッキプラグ付きモデル\*）
- **ME 4** | ラベリアマイク（カーディオイド、2021年以降の金メッキプラグ付きモデル\*）
- **MKE Essential Omni** | ラベリアマイク（無指向性）
- **MKE 2 Gold** | ラベリアマイク（無指向性、2018年以降の青色シリアルナンバーラベルのモデル）
- **MKE 1** | ラベリアマイク（無指向性）

**ヘッドセットマイクロホン：**

- **ME 3** | ヘッドセットマイク（無指向性、2021年以降の金メッキプラグ付きモデル\*）
- **HSP Essential Omni** | ヘッドセットマイク（無指向性）
- **HSP 2** | ヘッドセットマイク（無指向性、2020年3月以降のコード1090以上のモデル）
- **HS 2** | ヘッドセットマイク（無指向性、2021年以降の金メッキプラグ付きモデル\*）
- **SL Headmic 1** | ヘッドセットマイク（無指向性）

\*2021年より前のニッケルプラグ付きモデルは非推奨です。トランスミッターに近づけすぎるとノイズを拾うことがあります。



## ボディパケットランスミッターに楽器やラインソースを接続する

ボディパケットランスミッターには、楽器やラインレベルのオーディオソースを接続できます。

これには、**CI1** (6.3 mm ジャックプラグ・ロック式3.5 mm ジャックプラグ) または**CL2** (XLR-3F プラグ・ロック式3.5 mm ジャックプラグ) Sennheiser ケーブルが必要です。

ボディパケットランスミッターに楽器やラインソースを接続するには：

- ▷ 下図のように、ケーブルの3.5 mm ジャックプラグをボディパケットランスミッターのソケットに挿します。
- ▷ ボディパケットランスミッターのオーディオソケットのねじにプラグのカップリングリングをねじ込みます。



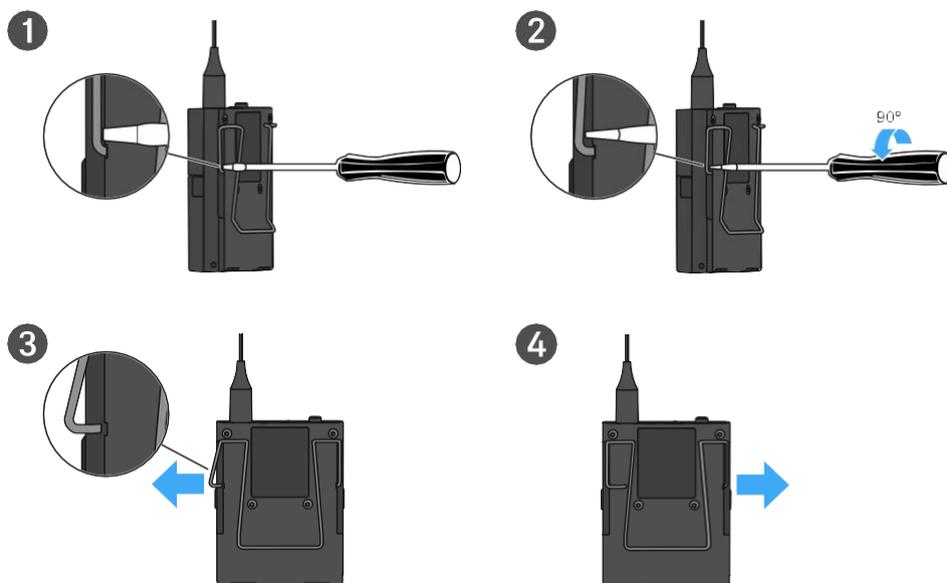


## ベルトクリップの交換

ボディパケットランスミッターのベルトクリップは、交換したり、装着方法に応じて逆向きに取り付けたりできます。

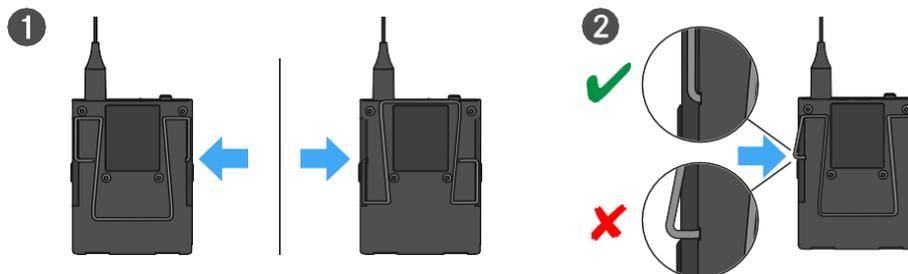
ベルトクリップを外すには：

- ▷ 下図のように、細いドライバーでベルトクリップを慎重に緩めます。
- ▷ ハウジングに傷を付けないよう十分気を付けてください。



ベルトクリップを取り付けるには：

- ▷ 上図のように、ベルトクリップの一端を挿し込みます。
- ▷ 反対の端も挿し込みます。
- ▷ ベルトクリップの両端を慎重に押し込みます。
- ▷ 必ず、左右の端を順番に挿し込んでください。同時に挿し込むと曲がる恐れがあります。

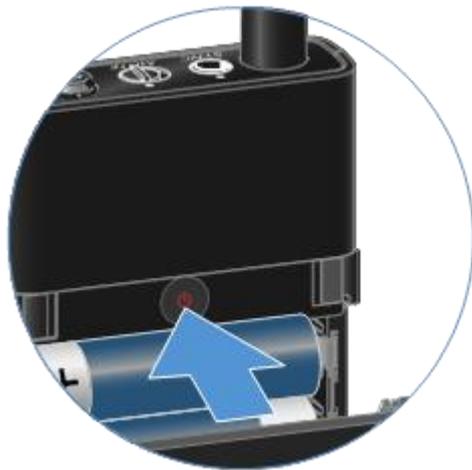




## ボディパケットランスマッタのオン/オフを切り替える

ボディパケットランスマッタをオンに切り替えるには：

- ▷ ON/OFFボタンを短押しします。
- ➡ LINK LEDが点灯し、ランスマッタがオンになります。



ボディパケットランスマッタをオフに切り替えるには：

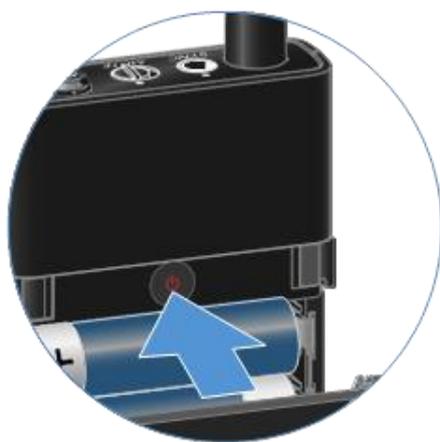
- ▷ ON/OFFボタンを、LEDが消えるまで長押しします。



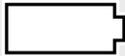
## トランスミッターのバッテリーステータスをチェックする（チェック機能）

トランスミッターのバッテリーステータスをチェックするには：

- ▷ トランスミッターのON/OFFボタンを短押しします。



- ➡ トランスミッターのLINK LEDが点滅して、電池またはBA 70充電電池の現在の残量を表示します。

LINK LED	
	≤ 100 %
	≤ 60 %
	≤ 20 %

- i** トランスミッターのON/OFFボタンを押すと、識別機能もオンになります：[ペアリングしたトランスミッターを識別する（識別機能）](#)

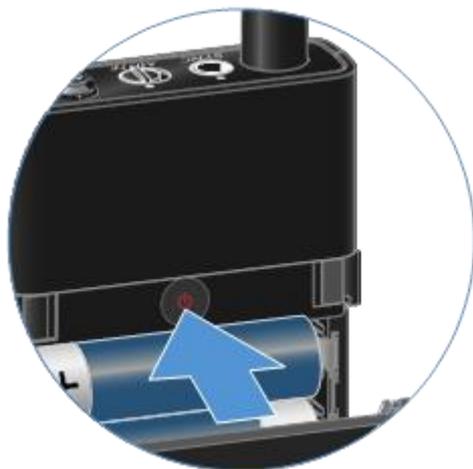


## ペアリングしたトランスミッターを識別する（識別機能）

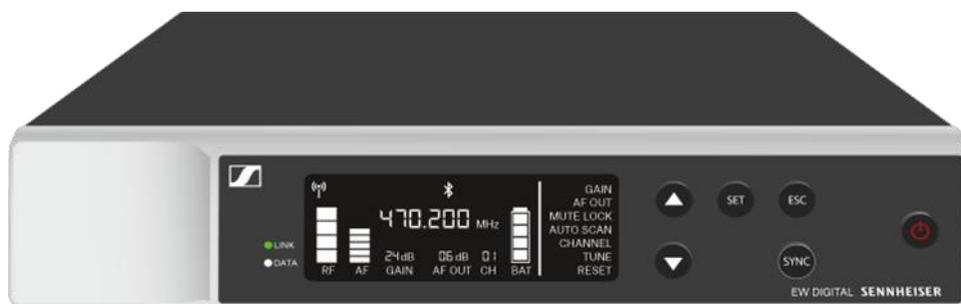
マルチチャンネルシステムでは、**識別機能**を使って、どのレシーバーとトランスミッターがペアリングされているかをすぐにチェックできます。

トランスミッターおよびレシーバーのいずれもオンになっている必要があります。

▷ トランスミッターの**ON/OFF**ボタンを短押しします。



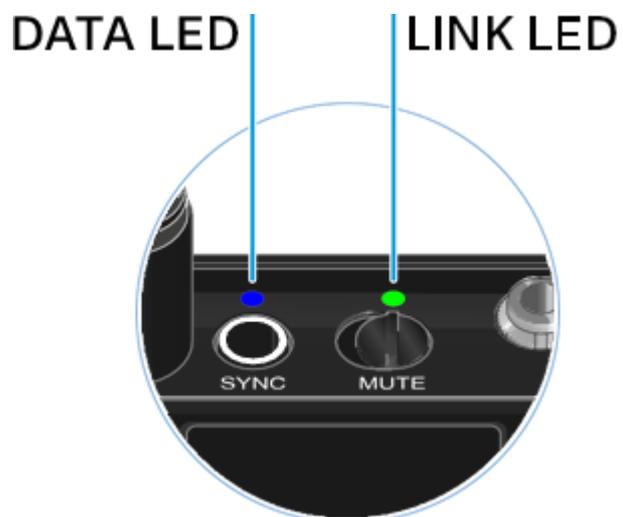
➡ ペアリングされているレシーバーのディスプレイが点滅し始めます。



- i** トランスミッターの**ON/OFF**ボタンを押すと、チェック機能もオンになります：  
トランスミッターのバッテリーステータスをチェックする（**チェック機能**）



## LED表示の意味



トランスミッター上部にある**LINK LED**および**DATA LED**は、以下の情報を提供します。

### **LINK LED**

**LINK LED**は、トランスミッターとレシーバーの無線リンクのステータス情報、およびペアリングしたトランスミッターのステータス情報を提供します。



LEDが緑色で点灯：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- 送信状態です。

LEDが黄色で点灯：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号がミュートです。

LEDが黄色で点滅：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号が駆動過多（クリッピング）状態です。

LEDが赤色で点灯：



- トランスミッターの電池／充電機の残量がゼロです。

LEDが赤色で点滅：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- トランスミッターの電池／充電機が切れかかっています。

LEDがオフ：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされていません。
- トランスミッターがオフです。



## DATA LED

DATA LEDはトランスミッターとレシーバーの同期情報を提供します。

---

LEDが青色で点滅：

- トランスミッターがレシーバーと同期されています。



---

LEDが青色で点灯：

- ファームウェアの更新中です。



---

LEDがオフ：

- アクティブなデータリンクがありません。





## レシーバーと接続する

トランスミッターとレシーバーの無線リンクを設定するには、デバイス同士が同期されている必要があります。

参照：[無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期](#)

### **i** 周波数使用に際しての条件と制約

周波数の使用に際しては国ごとに特別な条件や制約がある場合があります。

製品を使用する前に、以下のページで国別の情報をご確認ください：

[sennheiser.com/sifa](https://sennheiser.com/sifa)



## ボディパケットランスミッターをミュートする

ミュートスイッチを使ってオーディオ信号をミュートできます。

▷ ミュートスイッチをスライドさせて、オーディオ信号をミュートまたは有効化します。



- i** レシーバーの**ミュートロック**を有効化することで、ミュートスイッチを無効化できます ([MUTE SWITCH アイテム](#)を参照)。



## EW-DP SKP プラグオントランスミッター

### 製品概要

#### 電源

microSDカードを使う

XLR マイクロホンを接続する

ラベリアマイクロホンを接続する

プラグオントランスミッターのオン/オフを切り替える

レコーディングの開始/停止

MUTE モード

LED表示の意味

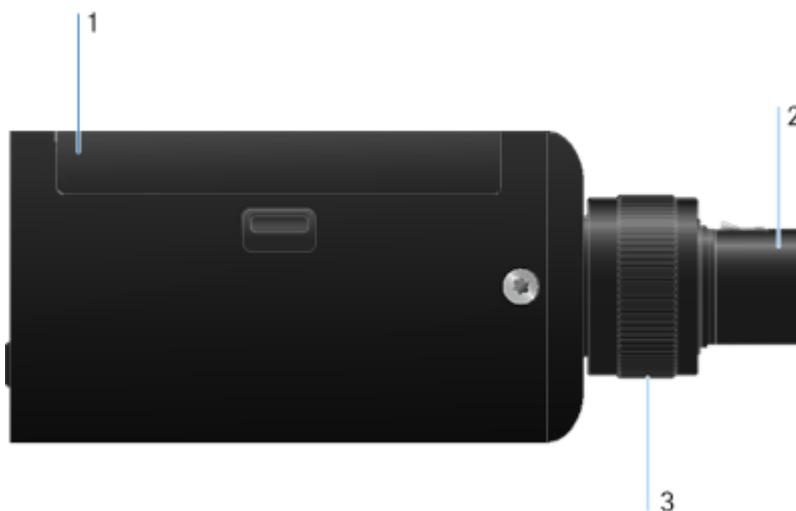
### 製品概要



- 1 **SYNC** ボタン：トランスミッターとレシーバーを同期
  - 参照：[無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期](#)
  - 参照：[LED表示の意味](#)
  
- 2 **ファンタム電源** ボタン：ファンタム電源（P48）のオン／オフを切り替える
  - 参照：[LED表示の意味](#)
  
- 3 **ESC/ON/OFF** ボタン：メニューのアクションをキャンセルする、デバイスのオン／オフを切り替える
  - 参照：[プラグオントランスミッターのオン／オフを切り替える](#)
  
- 4 **MUTE** スイッチ：オーディオ信号をミュートまたは有効化する
  - 参照：[MUTE モード](#)
  
- 5 3.5 mm ジャック入力：クリップオンマイク用
  - 参照：[ラベリアマイクロホンを接続する](#)
  
- 6 microSD カード用スロット
  - 参照：[microSD カードを使う](#)
  
- 7 REC ボタン
  - 参照：[レコーディングの開始／停止](#)



側面



1 電池ボックス

- 参照：[電源](#)

2 3-pin XLR プラグ

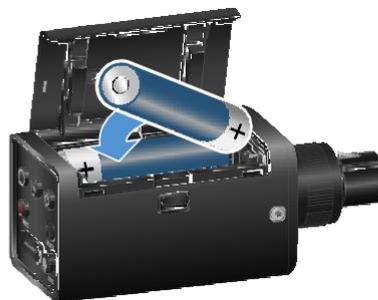
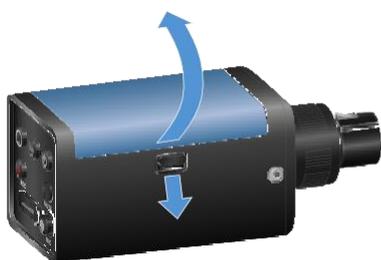
- 参照：[XLR マイクロホンを接続する](#)

3 ローレットねじ：XLR マイクロホン固定用

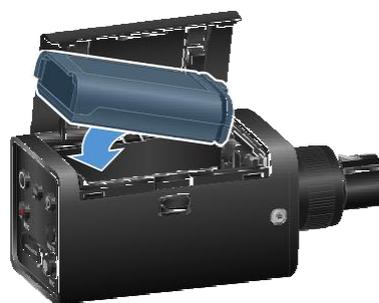
- 参照：[XLR マイクロホンを接続する](#)



## 電源



付属品：単三電池×2



別売り：BA 70充電電池

- ▷ EW-DP SKPの電池ボックスを開きます（リリースボタンを押し、リリースボタンの方にフタを優しく押してください）。
  - ➡ これで、電池ボックスを開けます。
- ▷ 単三電池×2またはBA 70 充電電池を電池ボックスに入れます。
- ▷ 電池ボックスを閉じます。

**i** レコーディング中に電池または充電電池を取り外すと、レコーディングファイルが壊れる恐れがあります。



**i** 再充電やトリクル充電を長期間行わずに保管しておく、BA 70 充電池が過放電する恐れがあります。長期間保管する場合は、使用後にトリクル充電で BA 70 充電池の充電を行うことをお勧めします。

**i** BA 70 充電池が過放電した場合、L 70 USB 充電池（別売り：article no. 508861）で充電すれば、元通りに使用できるようになります。



## microSD カードを使う

microSD カードを挿入するには：

- ▷ カードスロットのゴムブタを開きます。
- ▷ microSD カードを挿入します。
- ▷ ゴムブタを閉じます。



**i** レコーディング中にmicroSD カードを抜くと、レコーディングファイルが壊れる恐れがあります。

**i** EW-DP SKPはexFAT フォーマット対応です。

**i** 容量 ≤ 1TB のmicroSD カードのみに対応しています。

**i** microSD カードは最初に使用する前にSKPでフォーマットすることをお勧めします。



**microSD カードをフォーマットするには：**

- ▷ **REC** ボタンを約10秒間押します。
- ➡ フォーマット中は**REC LED** がゆっくりと点滅します。

**i** オーディオレコーディング中にmicroSD カードを抜くと、レコーディング中のファイル、既存のすべてのレコーディングファイル、ファイルシステム、場合によってはmicroSD カード自体が壊れる恐れがあります。

- i** 推奨されるmicroSD カード：
- SanDisk Ultra 128GB Class 10 U1 (その他のGB/速度も可)
  - SanDisk Extreme 128GB A2, C10, V30, U3 (その他のGB/速度も可)
  - SanDisk Extreme Pro 64GB A2, U3 V30
  - SanDisk Extreme Pro 128GB A2, U3 V30
  - Samsung 128GB evo select UHS-I U3
  - Samsung 256GB evo select U3
  - Intenso 64GB 10
  - Lexar 128GB U3, A1, V30
  - Lexar 64GB U3, A1, V30
  - Lexar 32GB 633x V10b
  - Verbatim per 64GB V30 U3 C10
  - Transcend 64GB A1 U1 C10



## XLR マイクロホンを接続する

XLR マイクロホンをEW-DP SKPに接続するには：

- ▷ XLR マイクロホンを、プラグオントランスミッターのXLR コネクターにつなぎます。
- ▷ ローレットねじでマイクロホンを固定します。





## ラベリアマイクロホンを接続する

ラベリアマイクロホンをEW-DP SKP プラグオントランスミッターに接続するには：

- ▷下図のように、ケーブルの3.5 mm ジャックプラグをプラグオントランスミッターのソケットに挿します。
- ▷プラグオントランスミッターのオーディオソケットのねじにプラグのカップリングリングをねじ込みます。





## プラグオントランスミッターのオン／オフを切り替える

プラグオントランスミッターをオンにするには：

- ▷ ON/OFF ボタンを短押しします。
- ➡ プラグオントランスミッターがオンになります。



プラグオントランスミッターをオフにするには：

- ▷ ON/OFF ボタンを押します。
- ➡ プラグオントランスミッターがオフになります。



## レコーディングの開始／停止

レコーディングを開始するには：

- ▷ REC ボタンを一秒間短押しします。
  - ➡ レコーディングが開始します。



レコーディングを停止するには：

- ▷ REC ボタンを一秒間短押しします。
  - ➡ レコーディングが停止します。

- i** EW-DP SKPの134 dBの大きなダイナミックレンジにより\*.wavオーディオファイルは非常に小さいボリュームでmicro SD カードに記録されます。
- レコーディングファイルは使用前に適切なソフトウェアで「ノーマライズ」する必要があるかもしれません。
  - レコーディング全体のオーディオレベルを、レコーディングファイルの最大ピークまで上げることをお勧めします。
  - 具体的な手順は通常、ソフトウェア（フリーソフトの“Audacity”など）のメーカーより提供されています。



## MUTE モード

プラグオントランスミッターは、MUTE スイッチでオーディオ信号をオフにすることで、ミュートできます。

**i** 注：レコーディング中に**MUTE** スイッチを有効化すると、**MUTE** スイッチが有効化されてもレコーディングは継続し、ミュートにはなりません。

▷ **MUTE** スイッチを適切なポジションにスライドさせて、オーディオ信号をミュートまたは有効化します。





## LED表示の意味



トランスミッター正面の**LINK**、**DATA**、**POWER**の各LEDは、次の情報を提供します。

### PWR LED

**PWR** LEDは、トランスミッターとレシーバーの無線リンクのステータス情報と、電池の充電ステータス情報を提供します。



---

LEDが緑色で点灯：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号がアクティブです。

---

LEDが黄色で点灯：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号がミュートです。

---

LEDが黄色で点滅：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされています。
- オーディオ信号がオーバーロード（クリッピング）状態です。

---

LEDが赤色で点灯：



- トランスミッターとレシーバーがリンクされていません。

---

LEDが赤色で点滅：



- 電池／充電池が切れかかっています。

---

## DATA LED

DATA LEDは、レシーバーのBluetooth Low EnergyとSmart Assistアプリのリンクのステータス情報、およびトランスミッターとレシーバーの同期のステータス情報を提供します。

---

LEDが青色で点滅：



- レシーバーとスマートフォン／タブレットのBluetooth Low EnergyとSmart Assistアプリがリンクされています。



または

- レシーバーがトランスミッターと同期されています。

---

LEDが青色で点灯：



- ファームウェアの更新中です。

---

LEDがオフ：



- 稼働中です。
- アクティブなデータリンクがありません。

---

#### P48 LED

P48 LEDは、ファンタム電源P48のステータス情報を提供します。

---

LEDが緑色で点灯：



- ファンタム電源P48がアクティブです。

---

#### RECORDING LED

RECORDING LEDは、レコーディングのステータス情報や、誤動作情報を提供します。



---

LEDが点灯：



- レコーディングがアクティブです。

---

LEDがゆっくり点滅：



- メモリーカードのフォーマットなど、アクションが進行中です。

---

LEDがすばやく点滅：



- エラーが発生しています。エラー表示の原因はいくつか考えられます。
  - メモリーカードが挿入されていない／カードに欠陥がある
  - 現在のレコーディングの、レコーディング可能な残り時間が10分未満である（ディスクの空きが81MB未満）
  - 新たなレコーディングの開始時にレコーディング可能な残り時間が3分未満である（ディスクの空きが24MB未満）（レコーディングが停止します）
  - 書き込みエラー
  - バッファオーバー

**i** メモリーカードはPCでのフルフォーマットをお勧めします（クイックフォーマットは選択しないでください）。



## 無線リンクの設定 | レシーバーとトランスミッターの同期

### EW-DP EK レシーバーとの接続 / EW-DP EKの同期

トランスミッターとレシーバーの無線リンクを設定するには、以下の手順に従ってください。

EW-D シリーズのレシーバーとトランスミッターを接続するには、デバイス同士を常に同期させておく必要があります。

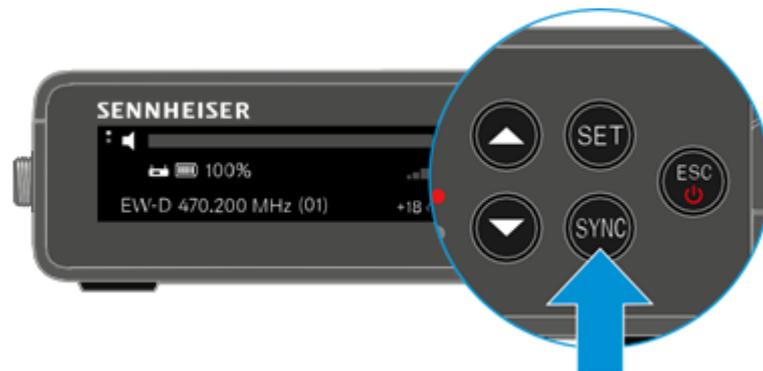
- i** レシーバーとトランスミッターを正しく接続するには、デバイス同士の周波数帯が同じでなければなりません。

#### ステップ1：空き周波数の設定

- ▷ **AUTO SCAN** 機能の利用をお勧めします。空き周波数を見つける最も確実な方法です（参照：[AUTO SCAN](#) **メニューアイテム**）。
- ▷ エリア内の空き周波数を把握している場合、手動で周波数を設定することもできます（参照：[CHANNEL](#) **メニューアイテム** または [FREQUENCY](#) **メニューアイテム**）。

#### ステップ2：レシーバーとトランスミッターのペアリング

- ▷ レシーバーの**SYNC** ボタンを短押しします。  
➔ **DATA LED**が青色で点滅します。



- ▷ トランスミッターの**SYNC** ボタンを短押しします。  
➔ **DATA LED**が青色で点滅します。





- ✓ トランスミッターとレシーバーがペアリングされます。リンクが完了すると、2つのデバイスのLINK LEDが緑色で点灯します。

**i** デバイスの**SYNC** ボタンは短押し（2秒未満）してください。**SYNC** ボタンを2秒以上長押しすると、ファームウェア更新モードに入り、同期がキャンセルされます。



## チャンネルプラン表

### EW-DPのチャンネルプランについて

EW-DP受信機には同一空間で6台が使用可能なデフォルトプラン(下記表のPlan 1)がプリセットされています。Auto Scan機能はPlan 1の周波数で使用可能なチャンネルを自動選択します。他のチャンネルプランで使用したい場合は、下記表のPlan 2~5の周波数を受信機Tune/Frequencyメニューでマニュアル設定し、SYNC機能で送信機をセットアップしてください。

#### 6チャンネルプラン

##### プリセットプラン

Channel	Plan 1
1	806.125
2	806.750
3	807.375
4	808.000
5	808.625
6	809.250

##### マニュアル設定で使用可能なプラン

Channel	Plan 2	Plan 3	Plan 4	Plan 5
1	806.250	806.375	806.500	806.625
2	806.875	807.000	807.125	807.250
3	807.500	807.625	807.750	807.875
4	808.125	808.250	808.375	808.500
5	808.750	808.875	809.000	809.125
6	809.375	809.500	809.625	809.750

### 6チャンネル以上のチャンネルプランについて

EW-DPはマニュアル設定することで最大10chのチャンネルプランが使用可能です。

6ch以上のプランでは狭い周波数間隔により音途切れ等が起こりやすくなるケースがあります。

使用台数が6ch以下の場合、6チャンネルプラン、7~8chの場合に8チャンネルプラン、

9~10chの場合に10チャンネルプランを使用してください。

#### 8チャンネルプラン

Channel	Plan 1	Plan 2
1	806.125	806.250
2	806.625	806.750
3	807.125	807.250
4	807.625	807.750
5	808.125	808.250
6	808.625	808.750
7	809.125	809.250
8	809.625	809.750

#### 10チャンネルプラン

Channel	Plan 1	Plan 2
1	806.125	806.250
2	806.500	806.625
3	806.875	807.000
4	807.250	807.375
5	807.625	807.750
6	808.000	808.125
7	808.375	808.500
8	808.750	808.875
9	809.125	809.250
10	809.500	809.625

※受信アンテナ~送信機の距離を5m以上離して使用してください。

マルチチャンネルで使用する場合は、電源をオフにした送信機を電源オン状態の送信機に近づけないでください(20cm以上離してください)。



## EW-DPとEW G4シリーズのデジタルアナログ混在プランについて

EW-DPデジタルワイヤレスとEW G4シリーズアナログワイヤレスは混在使用が可能です。  
その場合、EW-DPチャンネルプランではなく、EW G4シリーズのチャンネルプランを使用する必要があります。下記表のチャンネルプランに記載される同じBankグループ内の周波数をEW-DP/EW G4シリーズへ割り当てて使用してください。EW-DPはマニュアルで周波数設定をする必要があります。

### EW-DP と EW G4 シリーズのデジタルアナログ混在プラン

Channel	Bank 1	Bank 2	Bank 3	Bank 4	Bank 5	Bank 6
1	806.125	806.375	806.500	806.125	806.250	806.250
2	806.875	806.750	807.000	806.500	806.625	806.625
3	807.375	807.250	807.750	807.000	807.125	807.625
4	807.750	807.625	808.375	807.750	807.875	808.000
5	808.375	808.250	808.875	808.250	808.375	808.750
6	808.750	808.625	809.250	808.625	808.750	809.250
7	809.250	809.125		809.250	809.375	809.625
8	809.625	809.500		809.625	809.750	

※受信アンテナ～送信機の距離を5m以上離して使用してください。

マルチチャンネルで使用する場合は、電源をオフにした送信機を電源オン状態の送信機に近づけないでください(20cm以上離してください)。





## お手入れとメンテナンス

EvolutionWireless Digital シリーズの製品のお手入れとメンテナンス方法は以下をご確認ください。

### 注意



**液体は製品の電子系統の損傷につながる恐れがあります。**

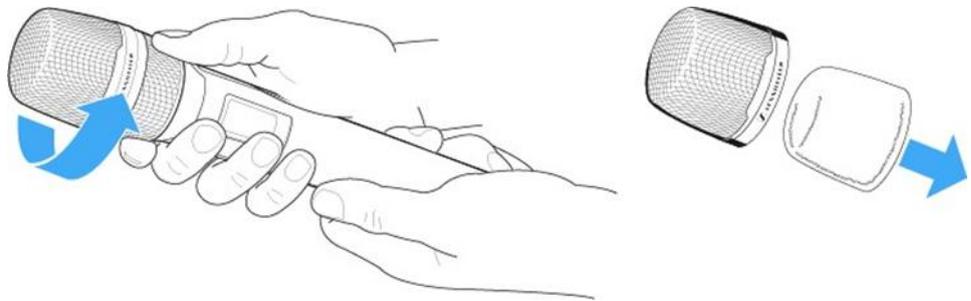
製品筐体内に液体が入ると、短絡や電子系統の損傷が起こる恐れがあります。

- ▷ 製品の近くには液体を一切置かないでください。
- ▷ 溶剤や洗剤は使用しないでください。

- ▷ お手入れを始める前に、製品から電源ユニット、電池／充電電池を外します。
- ▷ いずれの製品も、乾いた柔らかい布でのみ拭いてください。
- ▷ 以下の製品については、それぞれのお手入れ方法に従ってください。

### マイクロホンモジュールのサウンドインレットバスケットのお手入れ

- ▷ マイクロホンモジュールの上部にあるサウンドインレットバスケットを、反時計回りに回して外します。
- ▷ フォームインサートを外します。



**i** サウンドインレットバスケットの清掃方法は2つあります：

- 軽く湿らせた布を使って、サウンドインレットバスケットの内側と外側を拭きます。
- ブラシをかけ、きれいな水ですすぎます。

- ▷ 必要に応じて、低刺激性の洗剤でフォームインサートを清掃するか、フォームインサートを交換してください。
- ▷ サウンドインレットバスケットとフォームインサートを乾かします。
- ▷ フォームインサートを挿入します。
- ▷ サウンドインレットバスケットをマイクロホンモジュールに取り付けます。



マイクロホンモジュールの接点も、時々清掃してください：

- ▷ 乾いた柔らかい布で接点を拭きます。

#### **トランスミッターの接点の清掃**

- ▷ 乾いた布で接点を拭きます。

#### **L70 USBおよびCHG 70N 充電器の清掃**

- ▷ 充電スロットからすべての充電電池を外します。
- ▷ 清掃を始める前に、充電器を電源ユニットから外します。
- ▷ 乾いた布で製品を拭きます。
- ▷ さらに、ブラシを使って充電スロットの埃を取ります。
- ▷ 綿棒などを使って、充電接点も時々清掃してください。



## 2. 仕様

### 仕様一覧

システム  
EW-DP EK ポータブルレシーバー  
EW-D SKM-S ハンドヘルドトランスミッター  
EW-D SK ボディパケットランスミッター  
EW-DP SKP プラグオントランスミッター

### システム

#### EW-DPのオーディオリンク周波数帯域

T12: 806.125 – 809.875 MHz

#### Bluetooth® Low Energy (BLE) の周波数帯域

2402 – 2480 MHz

#### オーディオ周波数応答

20 Hz – 20 kHz (-3 dB) @ 3 dBfs

#### オーディオTHD

≤ -60 dB for 1 kHz @ -3 dBfs 入力レベル

#### ダイナミックレンジ

134 dB

#### システムレイテンシー

1.9 ms

#### 動作温度範囲

-10 ° C ~ +55 ° C (EW-D, EW-DP)

#### 相対湿度

5 – 95 % (結露無し)



## EW-DP EK ポータブルレシーバー

### 入力電圧

1.8 - 4.35 V

### 入力電流

通常 < 250 mA / 最大 < 400 mA (BA 70)

通常 < 400 mA / 最大 < 750 mA (単三電池 x 2) < 300 mA @ 5 V (USB-C スタンドアローン)

### 電源

単三電池 (1.5 V) x 2、

または USB-C PD (最大) :

- 5 V/1500 mA
- 9 V/900 mA
- 12 V/700 mA

### 送信電力

BLE : 最大 10 mW EIRP

### オーディオ出力電力

< 2 dBV 最大 (ハイレベル) /

< 4 dBV 最大 (ハイレベル)

### ヘッドホン出力

< 50 mW into 16 ohms

### 寸法

86 × 67 × 28 mm

### 重量

約 140 g



## EW-D SKM-S ハンドヘルドトランスミッター

### 入力電圧

2.0 – 4.35 V

### 入力電流

< 300 mA

### 消費電力

単三電池（1.5 Vアルカリ）x 2、またはBA 70 充電電池

### 帯域幅

200 kHz

### 送信電力

- オーディオリンク：10 mW ERP
- LD モード：10 mW ERP
- BLE：最大10 mW EIRP

### 寸法（直径×全長）

- 50 x 268 mm（MMD 835 マイクロホンモジュール含む）
- 40 x 200 mm（マイクロホンモジュール含まず）

### 重量（電池含まず）

- 約304 g（MMD 835 マイクロホンモジュール含む）
- 約195 g（マイクロホンモジュール含まず）



## EW-D SK ボディパケットランスミッター

### 入力電圧

2.0 - 4.35 V

### 入力電流

< 300 mA

### 電源

単三電池（1.5 Vアルカリ）x 2、またはBA 70 充電電池

### 帯域幅

200 kHz

### 送信電力

- オーディオリンク：10 mW ERP
- BLE：最大10 mW EIRP

### 寸法

63 x 80 x 20 mm（アンテナ含まず）

### 重量（電池含まず）

約120 g



## EW-DP SKP プラグオントランスミッター

### 入力電圧

2.0 - 4.35 V

### 入力電流

通常 < 300 mA (録音・P48無し)

### 電源

単三電池 (1.5 V) x 2、またはBA 70 充電電池

### 送信電力

オーディオリンク : 10 mW ERP

BLE : 最大10 mW EIRP

### 寸法

108 x 42 mm

### 重量

約163 g



### 3. よくある質問

#### どのように設定すれば使用できますか？

-まず受信機のCHANNEL, 又はTUNEメニューにて周波数設定を行います。そして、受信機のSYNCボタンを短く押し、送信機LINKボタンを短く押し、にて送信機へ周波数をセットします。その後、必要に応じて受信機のGAIN / AF OUTPUT / MUTE LOCKメニューを設定してください。

#### EW-D SK, EW-D SKM, EW-DP SKP送信機の感度設定はどのように行いますか？

-EW-D/EW-DP送信機側では感度設定不要のため、送信機に調整ボタン等はありません。送信機ではキャプチャされた音がデュアルADCによりゲイン調整不要でデジタルデータへ変換されます。音量調整は受信機のGAIN, AF OUTPUTメニューで行ってください。

#### EW-D SK, EW-D SKM, EW-DP SKP送信機のミュートスイッチは無効にできますか？

-ミュートスイッチは無効にできます。受信機のMUTE LOCKメニューよりミュートスイッチ有効/無効の切り替えが可能です。有効の場合、AFミュートは受信機にて行われます。

#### 送信機の電池残量は受信機ディスプレイ以外でも確認できますか？

-確認できます。送信機の電源ON時に、電源ボタンを短く押すと現在の電池残量をLED点滅で示します。  
【LED点滅色とバッテリー残量】 緑:100-60%、黄:60-20%、赤:20%未満  
また、Smart Assist アプリのTransmitter check機能でバッテリー残量確認も可能です。

#### 複数台を使用する場合、どの送信機がどの受信機へ接続しているのか確認できますか？

-確認できます。送信機の電源ON時に、電源ボタンを短く押すと接続している受信機ディスプレイが点滅して識別可能です。（送信機側はLED点滅でバッテリー残量を示します。）また、別売オプションのカラーコーディングを使用することでEW-D SK, EW-D SKM, EW-D EMはカラーチップで識別可能です。

#### EW-D SKMのデフォルトのカラーコーディング(黒色)はどのように外しますか？

-EW-D SKMのデフォルトのカラーコーディング(黒色)は突起がないため、取り外しが難しい場合があります。替えのカラーコーディングを使用して押し出すように取り外してください。アンテナケースのロゴ側から奥方向へスライドします。





## 4. お問い合わせ

当社の製品やサービスに関するご質問などのお問い合わせ先。



### 製品に関するご質問／技術的問題へのサポート

当社の製品やサービスに関するご質問などは、以下よりお気軽にお問い合わせください：  
<https://www.sennheiser.com/support>.



